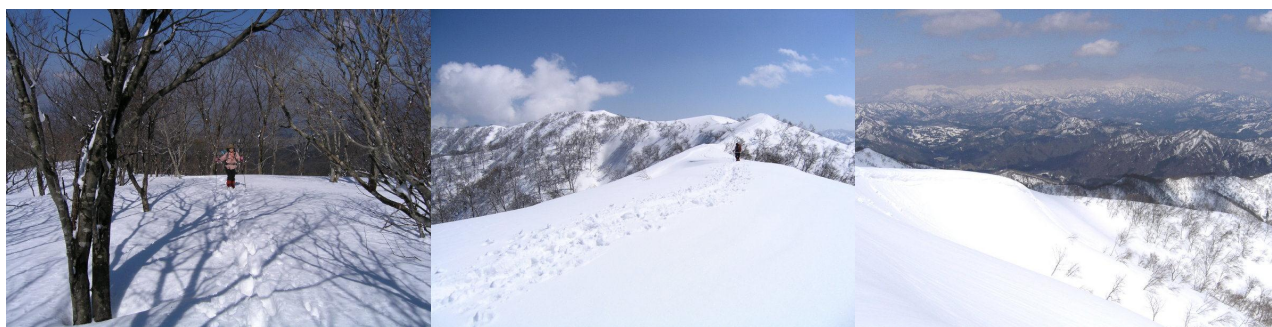


大蔵山～菅名岳山行記録



林間登り

三五郎から菅名岳へ

菅名山頂から飯豊が見えた

目的地	大蔵山～菅名岳ピストン	期 日	平成22年3月19日(金)・晴れ
山人	笠原正雄・伴場ちづ子	特 記	菅名岳ではじめて快晴。

地点名	時刻	記 事
燕三条駅	午前8:00	新幹線で来越のBと合流。
いずみの里付近駐車場	9:30 発	数台あり。のち女性3人隊来る。林道ゲートから進み、右にコース案内看板がある。林道を直進すれば胴腹清水へ続く。右に沢コースもあるが階段コースに行く。
1 合目標柱	10:00	この辺りはまだ雪は道脇にちらほら残っているのみ。単独者や少人数隊と会う。
4 合 目	10:35	左の展望が開けた見晴らしの良い所で休む。SL磐越物語号の汽笛が聞えて来る。耳をすませば、汽車のレール音も聞こえる。録音を試みたが、そんな時に限って汽笛を鳴らしてくれない。標柱には沢コースとの合流とあるが、踏み跡は無い。
5 合目過ぎ	10:48	晴れて、鳴沢峰と菅名岳のピークが良く見える。
6 合 目	11:00	今度はふり返るように右手の展望が利き、越後平野が良く見下ろせる。
大蔵山頂が見える	11:25	疎林となり、大蔵岳の山頂に一人立っているのが見えた。
大蔵山山頂	11:35～11:45	もう一人男が居て、どっかりと座り、ガスストーブを使っていた。彼はここ迄で、のんびり過ごしてから下りると言っていた。スノーシューを履いた単独女が追い越して行った。
菅名岳山頂	12:40	先行女性のほかに、なんと新発田のメグさんと近藤さんがランチ中である。再開を喜ぶ。3度目の菅名岳でようやく展望に出会えた。飯豊連峰まで良く見える。そちらを向いて腰を降ろす。快晴だが、少し風が寒い。メグさん達は大蔵山方向にピストンして行った。
下山へ	午後1:35	地元らしい男性が、やはりもう一度景色を楽しみながら来た道に戻ると云って大蔵方向に戻って行った。はじめは丸山尾根コースを下り、周回して戻る予定だったが、我々も彼女達や彼に倣ってピストンとした。Bは壺足のままトレースをたどり、俺はアルミワカンを履き、好きな所を歩く。下り始めると、大蔵岳迄と云っていた男が上って来た。
大蔵山	2:15	鐘を鳴らして通過。
5 合 目	2:40	日差しはあるが上空の雲が動き、やや寒くなった。4合目分岐で沢コース方向をのぞいてみたが、進路がよく分らなかった。途中でカンジキを外す。朝の雪が解け始めていた。
車に戻る	3:35	到着後、先行していたはずのメグさん達が下って来た。終盤の所で林道を歩いて来たと言う。ショートカットの間に追い抜いたのだ。
美人の湯入浴		さくらんどう温泉に向かったら、休業日だった。R290から遡行して加茂美人の湯で入浴。Bを高橋誠一さん宅に送り届けて帰宅。

退職間近で最後の春休みのBが埼玉から越後の山を訪ねて来た。彼女のリクエストに応える形でこのコースを歩いた。このコースは2度目である。菅名岳の山頂にはこれまで2度立っているが、一度は展望も無く強風だった。もう一度はガスで視界が全く無かった。ようやく周囲を見渡すことが出来た。そして大蔵山から菅名岳間は多少上げ下ろしがあるが、素晴らしい展望に恵まれた。

翌20日は、高橋誠一さんに誘われ、Bと一緒に加茂の「なごみの会」と「黒埼山の会」の総勢26名のメンバーに加えてもらい、宝蔵山から白山の縦走ピストンに参加した。上山の稜線歩きから白山山頂の間に風が強い時間帯があり、ランチは風が強く、外では無理であった。やはりこれだけの人数で行くと、他の登山者もあり、白山の小屋は満杯になる。

この日もまずまずの展望を得られた。